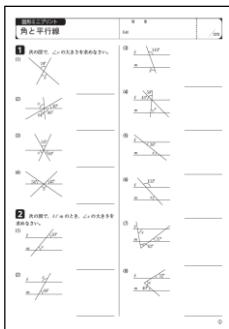


令和7年度 相馬市立向陽中学校「学習の約束」

○8:00から8:15まで朝の学習に取り組みます。

基礎学力の向上



令和7年度向陽中学校では、基礎学力と自己マネジメント力の向上を目指して

・朝の学習 (月～金 5教科バラプリント)

・単元テスト I ~ V (年5回順位あり)

・検定試験(国・数・英)

・フォーサイト(スケジュール帳)

に取り組みます。また、家庭では、提示された宿題(各教科のワークブック等)に取り組みます。

○中学校はテストがたくさんあります。※HPでも閲覧できます

月	1学期のテスト・検定試験
4	・全国学力・学習状況調査(3年)
5	・単元テスト I ・ふくしま学力調査 ・英語検定1
6	・単元テスト II ・数学検定 ・漢字検定
7	・実力テスト

月	2学期のテスト・検定試験
8	・夏休み課題テスト
9	・単元テスト III ・英語検定
10	・漢字検定
11	・単元テスト IV
12	・実力テスト

月	3学期のテスト・検定試験
1	・単元テスト V(3年) ・相馬市学力調査 ・英語検定
2	・単元テスト V(1・2年)
3	・実力テスト ・県立高校入試

名称	回数	備考
単元テスト	5回	9単元分
実力テスト	3回	1・2年生
	8回	3年生
漢字検定	2回	6,10月
英語検定	3回	5,9,3月
数学検定	1回	6月
各種学力調査も実施される		

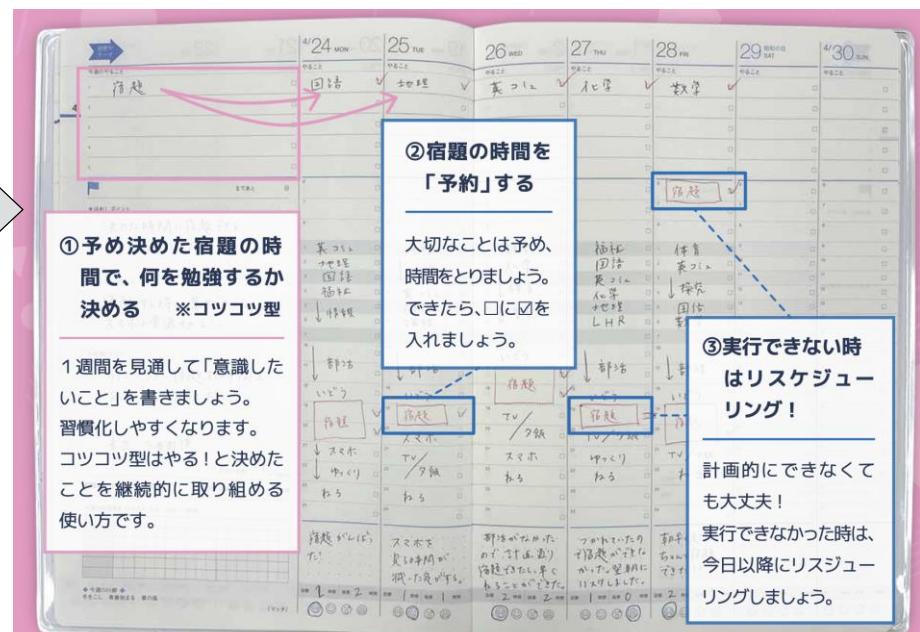
※単元テストは、単元ごとの定着度を図り、自身の苦手分野を補強するために行います。

○日々のスケジュールは自分で管理します。※宿題の内容を可視化できます

自己マネジメント力の育成



帰りの学活や授業中に提示された宿題(各教科のワークブック等)をフォーサイトに書き込んで家庭学習に取り組んでください。



○家庭で話し合って、メディアに費やす時間を減らしましょう。



LINE
Instagram
TikTok
Youtube など

※相馬市では、21時以降はスマホやゲーム機器等、電子メディアを使用させない約束になっています。

〈家庭学習～親の関わり方 10 のポイント〉

- ① フォーサイトで宿題の内容を確認する（5教科ワークブックは最低限度の宿題）
※ワークブックの解き直しやノートへの視写、教科書の音読など工夫しながら
 - ②自分で学習する時間を決めさせる（自己決定は大切、重点目標との関連）
 - ③子どもがやると決めたことについては信頼して見守る
 - ④おうちの方の目の届く場所で取り組ませる（自分の部屋よりリビングで）
 - ⑤子どもの学習の間、親も学習や読書をする（家族はチーム、親子一緒に取り組む）
※スマホやゲームは近くに置かない、預かる、テレビを消すなどルールを決めて
 - ⑥予定したことをやり遂げたときは、大いに喜びほめる（小さな努力でも見逃さない）
 - ⑦子どもが自分でやれる範囲を少しずつ拡張していく（時間よりも内容重視で）
※相馬市「家庭学習の手引き」では平日1.5時間、休日2時間が目標
 - ⑧子どもが得意な教科をつくる（そこから他教科へ広がる可能性大）
 - ⑨各種テストの予定を見えるところに貼っておく（2週間前から準備するつもりで）
 - ⑩子どもの話を聞いてあげる（子どもの心の疲れ、ストレスをとつてあげるのが会話）

〈親子でできる勉強法・おすすめ〉～教科書と問題集、両方を上手に使いこなす

- ① 入試対策として「教科書」をできるだけまんべんなく押さえておく必要がある
 - ② 「問題集」で出題されている箇所が押さるべき、重要なところととらえる
※問題集＝ワークブックだけでなく、単元テスト、実力テストも含む
 - ③ 問題の答えが教科書のどこに書かれているかチェックし、アンダーラインを引く
※これを「教科書を耕す」という。教科書という更地に問題集で出題されている箇所にラインを引き、種を植え、花を咲かせるイメージ。日々の家庭学習で親子ができる
 - ④ しばらくして教科書を読んだとき、問題集の復習も同時にしていることになる。テスト前に教科書を読むだけで押さるべきところが確認できる。特に理科、社会で効果大

教科書と問題集二刀流で

教科書と問題集二刀

【教科書】

参考 〈単元テスト問題を採用する 6 つの理由〉

- ①標準レベルの問題により、客観的な理解度や定着度を図ることができる
 - ②授業者は目標平均点を設定することで、授業改善・意識改革につなげることができる
 - ③押さえるべき知識、覚えるべきポイントが問題形式で体系的にそろっている
 - ④繰り返し問題に取り組むことができ、自身の苦手分野を補強できる
 - ⑤解答・解説が充実しており、問題の解き方をわかりやすく学ぶことができる
 - ⑥発展問題（入試改題など）に取り組むことで、実力テスト対策や入試対策になる